2021 年度

最終号

ぞうぐみ だより

社会福祉法人尚徳福祉会
生麦保育園

日が伸びて、少しずつ近づいている春の訪れを感じます。保育室は卒園式に向けて歌を練習する声が響いています。もうすぐ卒園と思うととても寂しい気持ちですが、残り少しの時間を子どもたちと楽しんで、思い出に残る保育園生活になるように最後まで関わっていきたいと思います。

ひなまつり

おひなさまの制作をしました。顔や髪の毛などは、自分の思い思いの色で表現し、着物はスポンジで色をしみ込ませてスタンプにしました。制作途中に「あかりをつけましょぼんぼりに～♪」と歌っている子もいました。玄関に飾ってあるひな壇も興味津々で見ていました。今までお当番活動で洗濯物を出してくると、必ずひな壇に寄り道して音を何度も鳴らして帰ってきていましたが、今では興味はあるものの、まっすぐ部屋に戻ってくるようになりました。小さい子たちが何度も音を鳴らしたり、おひなさまたちを触ろうとしたりすると「またならしてるね！」「なんどもきいたよ、このうた～」「あんまりさわるとこわれちゃうからね～」などの会話が聞かれるようになり、成長と共に物の扱い方を理解できるようになりました。

子どもたちの様子

卒園に向けて歌をうたったり、制作をしたりしているうちに、少しずつ卒園への意識、小学生になる意識がでてきたと同時に寂しい気持ちも芽生えたようで、帰りの会の前に歌をうたうとシクシク涙を流している子がいました。「もうすぐそつえんだとおもうとさみしい・・・」「りなせんせいにもあえなくなっちゃうのかな」とつぶやいていた子どもたち。幼いながらにも、その気持ちに気づいて話をしている姿が見られ、私自身も嬉しくもあり、寂しくもあり・・・そんな気持ちになりました。残りの１ヵ月を楽しみながら過ごせるようにしたいです。

待ちにまったなかよし会！ 10 月頃にやろうとしていたお寿司屋さんごっこが行事や休園などが重なり、なかなかできずにいたので、今回のテーマ『ふゆまつり』にして、お祭りごっこの中にお寿司屋さんを入れました。なかよし会ができると分かると大喜び！お店の案をいくつか提案すると「たこやき！！」と子どもたちの意見が一致しました。時間を見つけて作っていくうちに「ちいさいこたちにもあげるから、ていねいにつくろうね」と一人が言い始めると「そうだね！！たくさんつくるのはたいへんだけど、みんなできょうりょくすればすぐおわるよ！」など、仲間意識や協力する姿が見られました。完成してくると「あとなんにちでなかよしかい？」と、ニコニコ笑顔で保育者に聞き、指折り数えていました。

本番は、ひよこ～きりん組までお店屋さんになりきり「いらっしゃいませ～！むりょうのかいてんずしですよ～！」「すたんぷおしますよ～！」など張り切っていました。きりん組とぞう組は交代してお店屋さんとお客さんになりました。お店屋さんでパワーを使ったからか疲れている様子が見られましたが、ヨーヨーをもらったり、ゲームコーナーなどで遊んだりと楽しむことができました。夕方、絵本棚の絵本がバラバラになっていたので「えほんやさんになってくれるひと～？」と呼びかけると、ささっと集まって絵本棚をキレイに整理整頓してくれました♪